

甲子園への道なかば——なぜ3人の野球部員は演劇部へ？最後に明かされる衝撃の事実とは！
 実話の原作をもとに構想10年！大人と若者をつなぐ青春のメッセージ！



野球部員、演劇の舞台に立つ！

渡辺佑太郎 川籠石駿平 山田慎嗣 柴田杏花 佐々木萌詠 茅生悠 山田香奈 林遣都 宇梶剛士 宮崎美子

音楽：小六翻次郎 テーマ曲：「ユビノサキへ」 Good Coming

監督：中山節夫 原作：『野球部員、演劇の舞台に立つ！』を基に『スタンドアップ！』を改題し制作
 脚本：渡辺佑太郎 監修：渡辺佑太郎 演出：渡辺佑太郎 監製：渡辺佑太郎
 製作：京映アーツ 配給：パンドラ

© 2017 野球部員、演劇の舞台に立つ！ 製作配給委員会 / 渡辺アーツ・プロダクション・ヒケキヤーズ

- 文部科学省 特別選定作品
- 第1位 ぴあ映画 観客満足度
- 第2位 トリノバスクエスト 映画祭

助成：文化庁文化芸術振興補助金



その時までは 普通の高校球児だった...

福岡県南部の強豪・八女北高校野球部。チーム内での熾烈なポジション争いを繰り返しながら、春の選抜甲子園出場を目指し日夜猛練習に励んでいた。だが、まさかの敗退に、チーム内はキクシャクし始めていた。そんな折、エースの望月ら中心選手は突然、監督から演劇部に参加するよう命令される。反発する

若者の心を描いた感動の実話！

竹島由美子の実話原作をもとに構想10年、ベテラン中山節夫監督がメガフォオンを取り、ついに待望の映画化。いまを生きる若者の心に沸き上がる不安、希望、熱い思い、そんな彼らを精一杯理解して応援している大人たちとの絆を、瑞々しい映像で描いている。

主演の望月には渡辺佑太郎が抜擢され、高校生役を体当たりの演技で熟演。その他、舟津大地、川籠石駿平、柴田杏花など、明日の映画界を担う若手のホープが勢揃い。加えて林遣都、宇梶剛士、宮崎美子らの芸達者たちがガッツリと脇を固め、観る者に感動を呼ぶ青春のメッセージを伝えていく。

佐藤忠男さん (日本映画大学名誉学長)

良い映画だ この映画を見ていると私の青春をまざまざと思い出す。いつも夢を見、しかし不安であり、自分と違う美点を持つ友を探し求めていた。自分が今日あるのは、あの年頃、自分とは違う良きを持った友を、仲間を、先輩を、

教師を積極的に探し求めたからかと思う。中山監督はこういう確実に若者たちの役に立つ地道な映画をこつこつと創り続けてきた人である。この作品など、その長年の経験が映画の艶になって輝いている。とくにこんどは青春というものが持つ負負いと、それに伴う取じらいとが良いバランスで表現されていて、すがすがしいほどだ。



映画「野球部員、演劇の舞台に立つ！」製作配給委員会
 八女事務所 〒834-0047 福岡県八女市稲富111-1
 TEL/FAX:0943-24-9061 E-mail:koushien-642@hi3.enjoy.ne.jp
 H P:http://www.yakyubu-in-vs-engekibuin.com/

